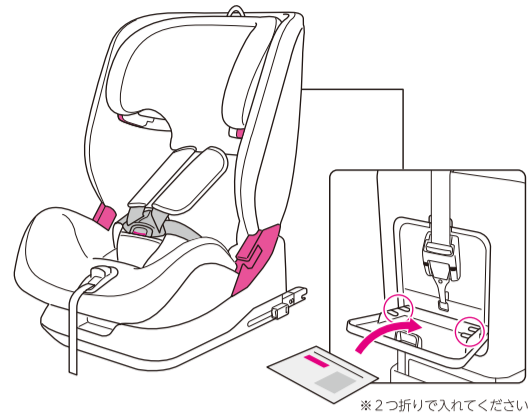


取扱説明書 保証書付

はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。



ISOFIX固定式・ベルト固定式
チャイルドシート
型式/TYPE : C04000
UN R44/04 Group I, II, III
Group I : UNIVERSAL
Group II, III : UNIVERSAL
SEMI-UNIVERSAL
リーマン株式会社 www.jeaman.co.jp
〒496-0911 愛知県豊田市西保町南川原68-1
お客様相談室 **TEL. (0567) 27-0173**
受付時間 月曜日～金曜日 (祝日・弊社定休日を除く)
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

表示マーク	この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなどのマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。
警告	記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
注意	記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
禁止	図示されている内容の禁止を示しています。
確認	安全のため、必ず確認していただきたいこと。
アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。
Q	うまくいかない時は、うまく作動しない時などに役立つ補足説明がまとめてあります。ご参照ください。

※製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら当社お客様相談室へご連絡ください。 ※製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。

クイックガイド/目次

事前準備	お車に取付ける	メンテナンス
<ul style="list-style-type: none"> 1 ISOFIX取付け金具/トップテザーアンカーとは 2 適合の確認 3 取付けできない座席 4 作業スペースの確保 5 各部名称 	<ul style="list-style-type: none"> 1 取付けの準備 2 ISOFIXコネクタを差し込む 3 トップテザーをアンカーに接続する 4 お子さまを座らせる 5 幼児ベルトの高さ調整 6 お子さまを拘束する 7 拘束ポイントを確認する 8 取付けを確認する 9 お子さまを降ろす 	<ul style="list-style-type: none"> 1 カバーを取りはずす(カバーを取付ける) 2 重要な注意すべき点 3 洗濯と日常のお手入れ 4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

事前準備

1 ISOFIX取付け金具/トップテザーアンカーとは

- ISOFIX取付け金具とはチャイルドシートを取付けるために、車両背もたれと車両座席の間に装備された金具(バー)です。
- トップテザーアンカーとはトップテザーフックを固定する為に車両背もたれ等に装備された金具(バー)です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書を確認してください。

2 適合の確認

- お子さまの体重 9～18kg (Group I) での使用時**
- 本装置は「汎用」年少用補助乗車装置として使用できます。本装置は車両で一般的に使用するものとして、UN規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
 - 車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少用補助乗車装置を搭載できると記載されている場合は、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。
 - 本装置はISOFIX 幼児拘束装置です。ISOFIX アンカレッジシステムを装備した車両で一般的に使用するものとして、UN規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されています。
 - チャイルドシートと取付け金具のカテゴリーに応じて認可されたISOFIX位置(詳しくは車両ハンドブックを参照)を有する車両に適合します。
 - 本装置の対象となる質量グループとISOFIXサイズ等級は下記の通りです。
質量グループ: G1 (9～18kg) ISOFIXサイズ等級: B1 (取扱説明書参照)

- お子さまの体重 15～36kg (Group II, III) で「ISOFIX取付け金具+トップテザー+車両シートベルト固定」での使用時**
- 本装置は「準汎用」年少用補助乗車装置として使用できます。
 - 本装置は、認可された車両がUN規則No.16または同等の基準で認可された3点式安全ベルトを装備している場合のみに適しています。

- お子さまの体重 15～36kg (Group II, III) で「車両シートベルト固定」での使用時**
- 本装置は「汎用」年少用補助乗車装置として使用できます。
 - 本装置は、認可された車両がUN規則No.16または同等の基準で認可された3点式安全ベルトを装備している場合のみに適しています。

取付け可能な車両シートベルトの種類	
シートベルトの種類と特徴	前向き取付け注意点
ELR ゆっくり引くと自由に入出力し、勢いよく引くとロックする。	○ ゆっくりとシートベルトを引き出してよく引くとロックする。
AELR シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	○ シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取付けてください。
その他 上記にあてはまらないシートベルト。	✕ 使用できません。

3 取付けできない座席

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店または当社お客様相談室までご連絡ください。

- ISOFIX取付け金具が装備されていない座席。
- シートベルトの付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 座面の奥行が43cm以下の座席。
- エアバッグが装備されている座席。(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- 本製品を取付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。(万一のとき乗員の安全が確保できません。)
- 助手席には取付けしないでください。
- 極端なポケットタイプなどの座席。(取付けた本製品が安定しません。)
- 座席の凹凸が極端で、取付けたときに不安定になる座席。
- その他、本製品を固定できない座席。

4 作業スペースの確保

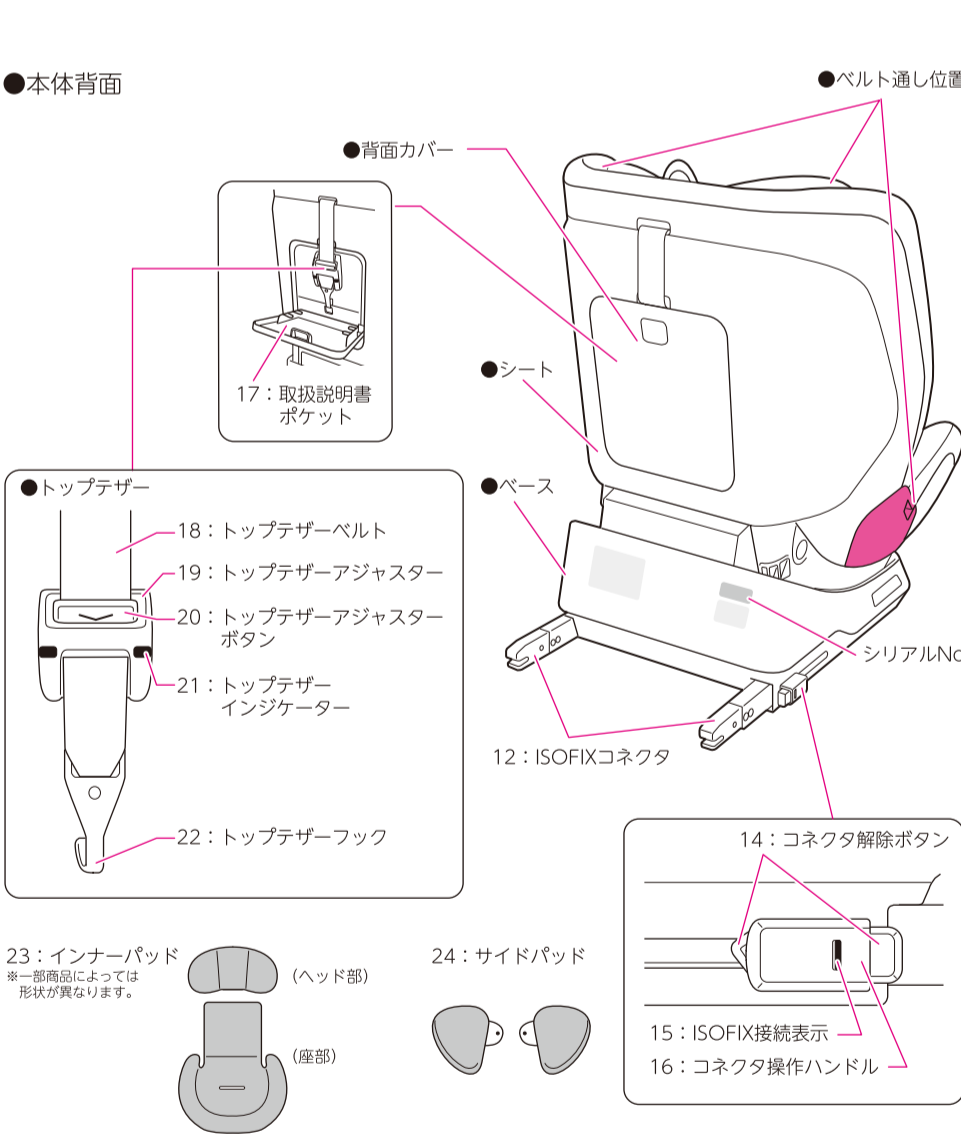
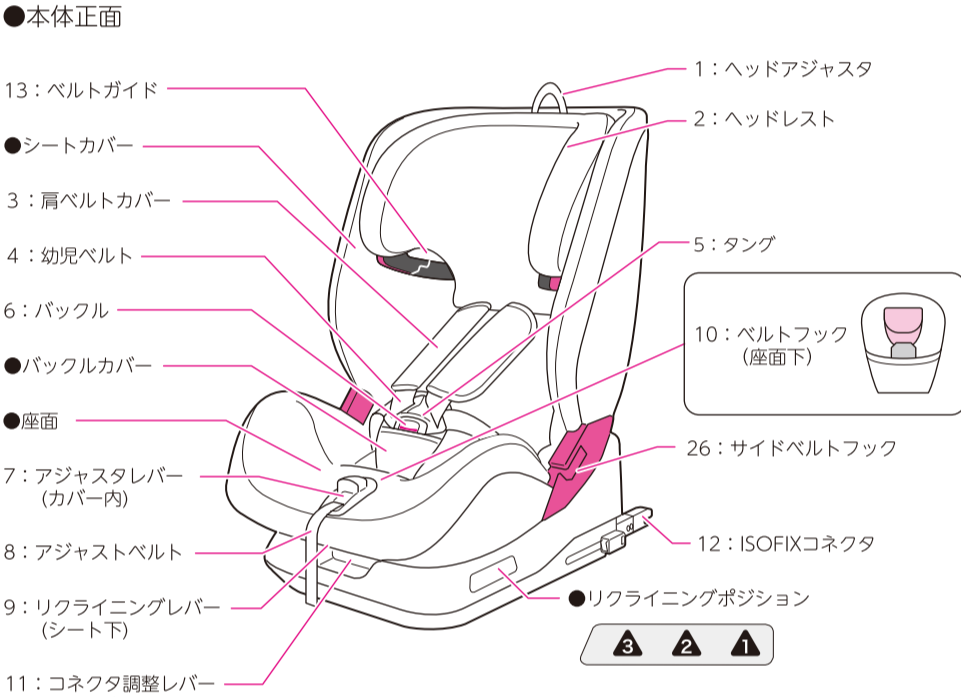
- 安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。**
- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。
 - 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
 - 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

8 ご使用上の警告/注意

- ▲ 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- 本製品のバックルをはずしたままでの使用は危険ですので絶対にしないでください。(ハイバックモードを除く)
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
- お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないように注意してください。ときどきバックルがバックルからはずれていないことを確認してください。
- 衝突事故や製品の落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。
- 本製品を改造したり、カバー類・フック類を取りはずして使用しないでください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にフックや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとりだけで放置することは絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作(ベルト調整・角度調節などの操作)をしないでください。
- お子さまの負担を考慮1時間以上連続して使用しないでください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- 肩ベルトが首にかかっていると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にかからないように調整してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してから使用してください。

5 各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。
※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。また、製品性能向上のため予告なく仕様変更することがあります。



- 付属品**
- 取扱説明書(保証書付)
 - チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ
 - プライバシーシール

※お客様登録ハガキが付属している商品はチャイルドシート保険が付帯しております。ご購入後、必ず必要事項をご記入の上、返送してください。

6 使用条件の確認

車の進行方向に対して「前向き取付け」で使用してください。

- 体重が9～18kg以下のお子さまは、「ISOFIX取付け金具+トップテザー固定」で使用します。
- 体重が15～36kg以下のお子さまは、「ISOFIX取付け金具+トップテザー+車両シートベルト固定」または、「車両シートベルト固定」で使用します。

チャイルドシートモード

お子さまの体重	9～18kg以下
身長のためやす	70～105cm
年齢のためやす	1歳頃～4歳頃
リクライニングポジション	▲▲▲
車両への固定方法	ISOFIX取付け金具+トップテザー

進行方向(前向き取付け)

使用する部品

ハイバックモード

お子さまの体重	15～36kg以下
身長のためやす	98～145cm
年齢のためやす	3歳頃～11歳頃
リクライニングポジション	▲
車両への固定方法	ISOFIX取付け金具+トップテザー+車両シートベルト

進行方向(前向き取付け)

使用する部品

リクライニングの仕方

- 使用モードによって、角度を調節します。
- A シートの下にある[9:リクライニングレバー]を引き上げながら、シートの角度(リクライニングポジション)を、各モードに合わせて調節する。
- チャイルドシートモード**
お子さまの様子に合わせて▲▲▲のいずれか
- ハイバックモード**
▲
- ▲各モード、指定の角度以外に変更しないでください。
- B レバーから指を離してシートをリクライニング方向にゆすり、ロックされていることを確認する。
- 本製品のシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。
- ▲無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずして使用してください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。
- ▲ベイス背面やシート背面、リクライニングレバーの下のすき間に指や手などを入れたまま、リクライニング操作をしないでください。特に小さなお子さまの手などが入らないように、周囲を確認し、ゆっくりと慎重におこなってください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりとリクライニングさせてください。お子さまの手などが本体などにぶつからないよう、また、ベイスとシートの間などにはさまれないように注意してください。

記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態でおこなってください。)
- 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけて、転倒してケガなどをされるおそれがあります。
- お子さまが本製品の上で立ち上ったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますので注意してください。本製品と車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、使用してください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないように本製品を取付けてください。
- ベルトを鋭利なもので傷つけないように注意してください。
- 本製品を車両以外では使用しないでください。
- 本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。
- 本製品を持ち運ぶときは、ベイス部以外をもたないでください。故障の原因となります。
- 爪をのびしていたり、付け爪をしていると拘束や調節操作をする際、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。

緊急時には… 衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

チャイルドシートモード時

バックルの赤いボタンを押して、バックルをはずします。

幼児ベルトをお子さまからはずし、お子さまを救出してください。

バックルの赤いボタンを押しても、バックルがはずれない場合はシートベルトカッター(前席用)などでシートベルトを切断してお子さまを救出してください。

ハイバックモード時

車両バックルの赤いボタンを押して、バックルをはずします。

お子さまにかかっている車両シートベルトをはずし、お子さまを救出してください。

車両バックルの赤いボタンを押しても、バックルがはずれない場合はシートベルトカッター(前席用)などでシートベルトを切断してお子さまを救出してください。

チャイルドシートモード **お子さまの体重：9～18kg以下** 年齢のめやす：1歳頃～4歳頃 **ISOFIX取付け金具 + トップテザー固定** 説明文中、操作部位の頭番号は、表面 **▲** 事前準備 **▲** 各部名称の番号を表しています。

1 取付けの準備

A シートの下にある [9: リクライニングレバー] を引き上げながら、シートを角度(リクライニングポジション)を、▲に調節する。

2 ISOFIXコネクタを差し込む

A [25: 取付けガイド] を ISOFIX 取付け金具に取付ける。

① ISOFIX 取付け金具が座席に隠れて見えにくい場合は [25: 取付けガイド] を使うことで取付けやすくなります。車両座席によって [25: 取付けガイド] を取付けできない場合や必要な場合は、必ず事前に取付けてください。

B 走行方向に対し前向きに設置する。

C [11: コネクタ調整レバー] を引きながら

D 左右の [12: ISOFIX コネクタ] を最大限引き伸ばす。(左右は運動しています)

E ISOFIX 取付け金具の位置を確認し、左右の [12: ISOFIX コネクタ] 先端部分が「カチッ」と音が聞こえるまで本製品を押し込み、左右の [15: ISOFIX 接続表示] が「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。

F [11: コネクタ調整レバー] を引きながら車両シートに密着するまで本製品を押し込みます。G 製品を前後させ、[12: ISOFIX コネクタ] が伸縮しない(ロックされている)ことを確認する。

取りはずし方
本製品を車両シートに軽く押し付けながら [14: コネクタ解除ボタン] を強く押し、ISOFIX 取付け金具の接続を左右片側ずつ解除する。その後、[11: コネクタ調整レバー] を引きながら [16: コネクタ操作ハンドル] を引き、[12: ISOFIX コネクタ] を格納する。

うまくいかない時は
① ISOFIX 接続表示が緑色にならない。
→車両の ISOFIX 取付け金具にしっかり接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる。または車両シートをリクライニング(倒す)するなどして、差し込み角度を調整し、もう一度 [12: ISOFIX コネクタ] の差し込み操作をやり直してください。

3 トップテザーをアンカーに接続する

A 背面カバーを開けてトップテザーを取り出し、巻いてある [18: トップテザーベルト] をほどこき、約 1m の長さを確認する。

B [20: トップテザーアジャスターボタン] を押しながら

C [19: トップテザーアジャスター] を手前に移動させる。

D トップテザーを、車両のヘッドレストの下の隙間に通す。

E [22: トップテザーフック] を車両のトップテザーアンカーに固定する。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

F [18: トップテザーベルト] を [21: トップテザーインジケータ] が「緑色」になるまで引っ張り、それ以上は引っ張らないでください。

▲ 余った [18: トップテザーベルト] は必ず巻き取り、ぶつつかない様に一番短くして面ファスナーで留めてください。(巻取り方: 右図参照)

●トップテザーベルトは、インジケータが緑色になるまで引っ張ってください。締めすぎると車のシートをいためますので引っ張らないでください。(インジケータは取付け時のめやすです。)

●トップテザーベルトはねじらなくてください。トップテザーベルトが短くなるとは張り直してください。

① トップテザーベルトの先端にある面ファスナーはシートカバーに触れないように生地表面をいためるおそれがあるため、取扱いには十分注意してください。

取りはずし方
[20: トップテザーアジャスターボタン] を強く押し、[18: トップテザーベルト] をゆるめてから [22: トップテザーフック] をはずす。

4 お子さまを座らせる

A [7: アジャスタレバー] の奥側を押しながら、

B 左右両方 (2本) の [4: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。

① [3: 肩ベルトカバー] ではなく、[4: 幼児ベルト] を引いてください。

C [6: パックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。

D [4: 幼児ベルト] を左右に開いてお子さまの座るスペースを確認する。

E [6: パックル] がお子さまの股の間に収まるようにして、お子さまを座面の奥深くに座らせる。

▲ お子さまが正座しないようにしてください。
▲ おしりと [23: インナーパッド] の間にすき間ができないように深く座らせてください。

5 幼児ベルトの高さ調整

A [4: 幼児ベルト] の長さに余裕をもたせて、[1: ヘッドアジャスタ] を上向きに引きながら、

B [4: 幼児ベルト] の高さが肩より多少高くなるように、[2: ヘッドレスト] 及び [4: 幼児ベルト] の高さを調整する。

6 お子さまを拘束する

A お子さまの腕を [4: 幼児ベルト] に通す。

B 左右の [5: タング] を重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで [6: パックル] に差し込む。

C [4: 幼児ベルト] をお子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置にかけ、[8: アジャスタベルト] をまっすぐ手前に引き、左右の [4: 幼児ベルト] のたるみをなくし、お子さまに密着させる。

▲ [8: アジャスタベルト] を斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかりと拘束できなくなる可能性があります。

① [4: 幼児ベルト] の調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と幼児ベルトの間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつたりするときは、幼児ベルトの長さを調節してください。

7 拘束ポイントを確認する

A [4: 幼児ベルト] を引っ張って、[6: パックル] や [4: 幼児ベルト] がゆるまないか確認する。

B [4: 幼児ベルト] がねじれたりせずに、お子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置を通っているか確認する。

●お子さまは必ず正しく拘束してください。正しく拘束しないと衝突時などに重大な傷害を負う可能性があります。

●パックルに異物が詰まったり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなる原因となります。

●お子さまの着席のために、必ず [8: アジャスタベルト] を引き、お子さまを拘束してください。

●おさばる服を着た状態で、本製品に座らせないでください。

●幼児ベルトをはずすと結ぶなど、本紙に記載のないやり方でお子さまを拘束しないでください。

うまくいかない時は
① [6: パックル] の赤いボタンが固くて押せない。
→ お子さまが固くて押せないように固く設定してあります。片手で操作が出来ない場合は両手で押し込んでください。

② [6: パックル] に [5: タング] がはまらない。
→ [5: タング] は左右別々の状態ではなりません。左右の [5: タング] を重ねてから [6: パックル] に差し込んでください。裏面に注意してください。

③ [4: 幼児ベルト] が短い。
→ [4: 幼児ベルト] をしっかりと引き出しきれていない可能性があります。[7: アジャスタレバー] を押し込んで、[4: 幼児ベルト] を引き出してください。

8 取付けを確認する

① ベースが車両シートに密着していること。
② ISOFIX 接続表示が「緑色」になっていること。
③ トップテザーフックが車両側のトップテザーアンカーにしっかりと固定されていること。
④ トップテザーインジケータが「緑色」になっていること。
⑤ トップテザーベルトにねじれやたるみがないこと。

▲ ①～⑤を確認して、しっかり取付けられていない場合は、再度取付けをやり直してください。

9 お子さまを降ろす

A [7: アジャスタレバー] の奥側を押しながら、

B 左右両方 (2本) の [4: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。

① [3: 肩ベルトカバー] ではなく、[4: 幼児ベルト] を引いてください。

C [6: パックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。

D [4: 幼児ベルト] を左右に開く。

E お子さまの腕を [4: 幼児ベルト] からはずし、お子さまを本製品から降ろす。

① 緊急時に [6: パックル] の赤いボタンを押しても、[5: タング] がはずれない場合はシートベルトカッター (市販品) などでもベルトを切断してお子さまを救出してください。

ハイバックモード **お子さまの体重：15～36kg以下** 年齢のめやす：3歳頃～11歳頃 **ISOFIX取付け金具 + トップテザー+車両シートベルト固定** または **車両シートベルト固定**

1 チャイルドシートモードからハイバックモードへの変更

▲ お子さまの体重が15kgを超えるまでは「ハイバックモード」で使用しないでください。

A [6: パックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずし、パックルカバーを取りはずす。

B [23: インナーパッド] のヘッド部分と座部分、[24: サイドパッド] を取りはずし、[8: アジャスタベルト] を最大限に引く。

[23: インナーパッド] ヘッド部分の取りはずし方
ベルトガイドの中央のすき間から、ゴム (左右) をはずす

[24: サイドパッド] の取りはずし方
背もたれカバーのホック (2箇所) をはずす

C 背もたれカバーのホック (4箇所) をはずし、前方へめくる。

D ヘッドレストカバーを上をめくる。

E [5: タング] を [4: 幼児ベルト] の付け根まで移動させ、タング金具を下にし、金具先が見えなくなるまでシートの凹みに押し込む。

F ヘッドレストカバーをもどし (ヘッドレストカバーの下に肩ベルトカバーと幼児ベルトが隠れた状態)、背もたれカバーのホック (4箇所) をつける。

2 取付けの準備

G 背面カバーをめくり、すぐ下の白いワッショシートの中央部をめくる。座面シェルにある凹みから [10: ベルトフック] を取り出し、[6: パックル] を格納する。

▲ 白いワッショシートは座面からはがさないでください。

H ワッショシート、座面カバーを元にもどす。

I [10: ベルトフック] を座面カバーの穴から外へ出し、パックルカバーをかぶせる。

▲ チャイルドシートモードへ戻す場合は、上記の逆手順でおこなってください。

3 車両への固定

ISOFIX 取付け金具 + トップテザー + 車両シートベルト固定 と、**車両シートベルト固定** の2通りの固定方法があります。

ISOFIX取付け金具 + トップテザー + 車両シートベルト固定の場合
上記「チャイルドシートモード」の ② ③ を参照し、取付けてください。
チャイルドシートモード ② → チャイルドシートモード ③

車両シートベルト固定の場合
このまま「ハイバックモード」の ④ ⑤ へ進んでください。

4 お子さまを座らせる

A 車両パックルをはずし、お子さまを座面の奥深くに座らせる。

▲ 次のような座らせ方では、本製品が本来の機能を果たさず、危険です。

- 体を左右どちらかに傾けて座る。
- 立てざり、中腰、正座などをする。
- 前かがみになる、のけぞる。

B [1: ヘッドアジャスタ] を上向きに引きながら

C [13: ベルトガイド] が肩と同じ高さか、やや高くなるように調整する。(下図参照)

肩
低すぎる ○ 肩と同じか やや高すぎる ×

D 車両シートベルトを引き出し、車両パックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。

E 車両シートベルトを [13: ベルトガイド] に通す。

F 車両シートベルトを左右の [26: サイドベルトフック]、[10: ベルトフック] の3点に引っかける。

▲ 車両シートベルト (腰側) は、腰骨の出来るだけ低い位置になるように調節して、腰部に密着させてください。

▲ お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。

▲ お子さまを降ろす場合は、上記の逆手順でおこなってください。

5 拘束ポイント/取付けを確認する

① ISOFIX 接続表示が「緑色」になっていること。
② トップテザーフックが車両側のトップテザーアンカーにしっかりと固定されていること。
③ トップテザーインジケータが「緑色」になっていること。
④ トップテザーベルトにねじれやたるみがないこと。
⑤ ベースが車両シートに密着していること。
⑥ リクライニングポジションが ▲ になっていること。
⑦ 車両シートベルト (腰側) がベルトガイドを通り、お子さまの首にかかっていないこと。
⑧ 車両シートベルト (腰側) が左右のサイドベルトフックと、ベルトフックを通っていること。
⑨ 車両シートベルトがお子さまの体に密着していること。たるみ、ねじれがないこと。
⑩ 車両シートベルトのタングプレートとパックルが確実に接続されていること。

▲ ①～④は 車両シートベルト固定 の場合は確認不要です。
▲ ①～⑩を確認して、しっかり取付けられていない場合は、再度取付けをやり直してください。

車両シートベルト固定の場合は確認不要

メンテナンス

1 カバーを取りはずす (カバーを取付ける)

① 最初の留め位置を覚えておいてください。商品により、留め方が異なります。

② カバーを取付ける場合は、下記の逆手順でおこなってください。

A [23: インナーパッド]、[24: サイドパッド]、パックルカバーを取りはずす。

※参照
① チャイルドシートモードからハイバックモードへの変更 AB

B 背もたれカバーのホック (4箇所) をはずし、シートカバーを①～⑤の順番ではずす。

2 重要な注意すべき点

シートカバーはチャイルドシートに不可欠ですので、チャイルドシートには必ずシートカバーをつけて使用してください。チャイルドシートが適切に機能するために重要な役割を果たします。メーカーの認定交換カバーのみを使用するようにしてください。

3 洗濯と日常のお手入れ

日常のお手入れ方法

- 取りはずしできるワッショシートは取りはずしてから洗濯してください。(一部商品によっては無いものがあります。)
- 樹脂部やワッショシートは固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 部品の取り寄せは、型番と品番を確認の上、購入店、取扱代理店または当社お客様相談室までご連絡ください。

▲ 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をいためるおそれがあります。

C ヘッドレストカバーを①～③の順番ではずす。

ツマミからゴム (左右) をはずす

4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

シートカバーなどの縫製品の洗い方

- 中性洗剤を使用し、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯後は、脱水機、乾燥機はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。

4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

保管 ●製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。

廃棄 ●お住まいの自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずし、廃棄してください。
●当社にてチャイルドシートリサイクルサービスをおこなっております。詳しくは当社お客様相談室までご連絡ください。

製品仕様 製品サイズ W440 D570 H660mm
材質 本体・PP・ウレタン・シートカバー…表/ポリエステル 裏/ウレタン